

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年分:速報)

＜対世界＞

○輸出総額:12兆5,169億円(伸率:+0.7%) ⇒ 5年連続のプラス

・順位:1位

【順位は、昭和54(1979)年以降(47年)による。以下同じ。】

・増加品目:半導体等電子部品(同+8.1%)、二輪自動車類(同+22.4%)

○輸入総額:10兆1,061億円(伸率:▲5.4%) ⇒ 3年連続のマイナス

・順位:4位

・減少品目:石炭(同▲26.9%)、金属鉱及びくず(同▲11.2%)

○差引額:2兆4,108億円(伸率:+38.2%) ⇒ 3年連続の輸出超過

・順位:1位

為替レート: 2025年:149.69円/ドル(2024年:150.97円/ドルと比べ0.8%の円高)

＜品目別動向＞

○輸出

半導体等電子部品(1兆7,135億円→1兆8,515億円、伸率:+8.1%)は、香港(5,722億円→7,584億円、同+32.6%)及びベトナム(2,944億円→3,079億円、同+4.6%)向けが増加し、5年連続のプラスとなった。

また、二輪自動車類(1,756億円→2,150億円、同+22.4%)は、アメリカ(239億円→402億円、同+68.5%)及びEU(1,099億円→1,189億円、同+8.2%)向けが増加し、2年ぶりのプラスとなった。

一方、自動車(3兆5,058億円→3兆3,219億円、同▲5.2%)は、アメリカ(1兆103億円→7,141億円、同▲29.3%)及び中国(8,120億円→7,727億円、同▲4.8%)向けが減少し、5年ぶりのマイナスとなった。

○輸入

石炭(3,908万MT→3,846万MT、伸率:▲1.6%、1兆437億円→7,632億円、同▲26.9%)は、オーストラリア(2,586万MT→2,584万MT、同▲0.1%、6,805億円→5,230億円、同▲23.1%)及びカナダ(313万MT→260万MT、同▲17.0%、1,149億円→581億円、同▲49.4%)からが減少し、3年連続のマイナスとなった。

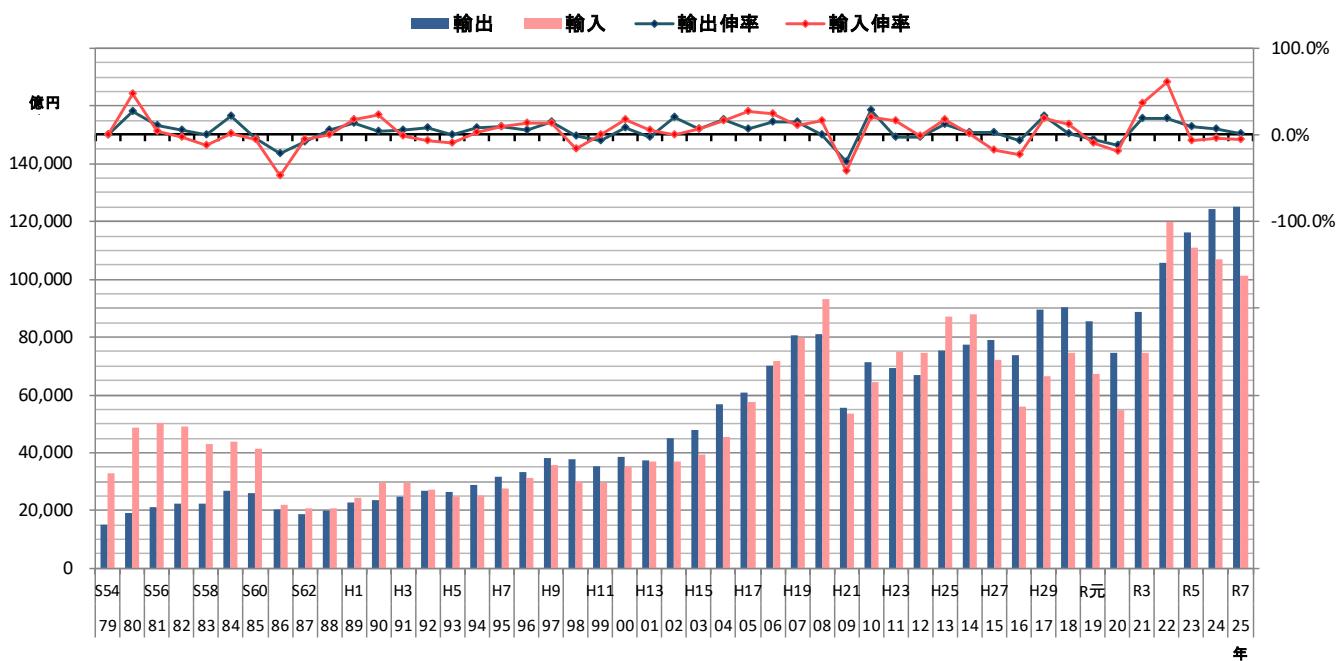
また、金属鉱及びくず(1兆1,390億円→1兆111億円、同▲11.2%)は、銅鉱(6,108億円→5,087億円、同▲16.7%)が減少し、2年ぶりのマイナスとなった。

一方、航空機類(156億円→1,093億円、同7.0倍)は、アメリカ(7億円→907億円、同121.7倍)及びEU(132億円→176億円、同+33.0%)からが増加し、2年ぶりのプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年比

令和7年分：速報

九州圏の貿易額及び伸率推移



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移

